

# ウエストウィング完成

かねてより新築を行っていたウエストウィングが完成し、今年度より使用開始となった。

ウエストウィングには中学のホームルーム教室と教育図書室、活動部室のほか、生徒会室や面談室などがある。

四月十二日にはウエストウィング半地下のケルプ講堂で完成祝賀会が行われ、校舎の設計を手がけた十期卒業生の妹尾正浩氏とヴィクトール会総長マルコ・R・フランシス神父による記念講演が行われた。

**教育とヴィクトール修道会と連帯**

F. R. マルコ・R. フランシス

私は、本日ここに参加させていただき、洛星中学高等学校の生徒の皆さんにお話できる機会を与えていただいたことを、大変うれしく、また光栄に思っております。また、皆さんと私が共有できる大切なものを持つていけることも、嬉しいこととであります。と申しますのも、私自身がシカゴの郊外にあり、ヴィクトール修道会経営の学校の卒業生であり、そのことから、皆さんと私は、共に国際的な大きな家族の一員なのであります。世界中のすべてのヴィクトール修道会の学校の名において、皆さんに心からの挨拶を申し上げます。



今回は、それが日本であれ、アフリカ、南アメリカ、カナダ、アメリカ合衆国のいずれであれ、それらの国々の文化と深い関わりを持つております。私も、仕事をさせていただく国々の文化に心を開き、その教習と伝統を尊敬し、心を開くよう心がけております。日本では千年にわたって培われた、文学、芸術、建築の伝統が豊かに見られる、美しいこの京都という地は、教育の場としてまことにふさわしいところであると確信いたします。

また私も、生徒の皆さんと、我々自身の持つていくべき文化と理の教育に最善を尽くそうとするこゝとに申すまでもないこととありますが、ヴィクトール修道会の教育についての考え方、それは情報社会の現代において、情報とは即ち力である。そう、整理された情報を人々に供給する情報はイコール人々に力を与えるものである。だが同時に、情報は速度を要する。一分一秒の遅れが情報を錆びつかせ、力を失わせる。現在、我々新聞局は戦力が絶対的に不足している。洛星諸君に新鮮かつ整理された情報を供給するにはより多くの人員が必要だ。そこで、我々は新たな戦力を求め、必要条件是以下の二つ。一、日本語を多少なりとも話せること。二、日本文化を多少なりとも理解すること。

文化祭に向けて

第一回文芸祭が六月十日に行われ、文芸十五パーセントの文化祭へ向け動きはじめた。今年の文化祭は年々文化も扱えること。この新聞は主に日本語で発行するからである。二、行動力があること。我々新聞局は足で情報をおく。三、平和を愛する心。我々は非暴力を掲げ続ける。これらの内、一つでも満たしているなら合格だ。集え、若人よ！

文化祭に参加する人数が減り、それにともなう文化祭当日に暇をもてあましてしまっている生徒の増加の問題や、今年度より始まった「授業五日、学校六日」の新カリキュラムなどの点から、昨年度十二月に行われた特別協議会において文化祭二日間の検討がされたが、演劇や合唱等の審査や準備に支障をきたすことから、例年通り三日間にわたって行われることになった。そこで先ず生徒の増加の問題への対策として生徒会、総務部を中心として企画を充実させる予定。また、ケルプ講堂にて文芸による展示を行う計画もあり、期待できる文化祭となるだろう。

日本、ヨーロッパの諸国、カナダ、アメリカの人口を合わせると世界の人口のおよそ二〇％になります。地球の全資源の八〇％を消費しています。日本でもそうですが、発展途上国では、多くの人が、特に子供たちが毎晩おなをすかしたまま床につき、栄養不足のために発達が遅れています。こうした世界の現実を考えると、私たちがより不幸な生活を強いられている人々と、その苦痛を分かち合うことが大切なのではないでしょうか。

聖書のルカ福音書のなかで、イエス・キリストは、世の終わりの神の裁きに触れて、つぎのように言っておられます。「恵みを多く受けた人は多く要求され、多くを任せられた人は、多く要求される。私たちはみな多く与えられていますから、今も、これからも多く要求されると確信しています。

最後に、今日皆さんに、日本や世界の他の国々の、より不幸な人たちのニーズに、個人としてまたグループとして、どうしたらこたえられるのかを考えていただきたいと思います。自分自身に与えられたものに感謝の気持ちを忘れず、他の人たちの幸福のために力を尽くすことこそ、ヴィクトール会の教育の目指すところでもあります。洛星の生徒であることに常に誇りを持ち、自分に多く与えられたものを自覚し、他の人々に愛と寛大な心を持って接するよう願ってやみません。

最後になりましたが、皆様と美しい洛星を祝福させていただきますよう願っております。



発行  
洛星新聞局  
TEL 466-0001  
FAX 466-0777  
印刷 / (有) 片桐軽印刷

## 局員募集

新報。それは情報の結晶である。情報化社会である現代において、情報とは即ち力である。そう、整理された情報を人々に供給する情報はイコール人々に力を与えるものである。だが同時に、情報は速度を要する。一分一秒の遅れが情報を錆びつかせ、力を失わせる。現在、我々新聞局は戦力が絶対的に不足している。洛星諸君に新鮮かつ整理された情報を供給するにはより多くの人員が必要だ。そこで、我々は新たな戦力を求め、必要条件是以下の二つ。一、日本語を多少なりとも話せること。二、日本文化を多少なりとも理解すること。

## 文化祭に向けて

第一回文芸祭が六月十日に行われ、文芸十五パーセントの文化祭へ向け動きはじめた。今年の文化祭は年々文化も扱えること。この新聞は主に日本語で発行するからである。二、行動力があること。我々新聞局は足で情報をおく。三、平和を愛する心。我々は非暴力を掲げ続ける。これらの内、一つでも満たしているなら合格だ。集え、若人よ！

## 文化祭に参加する人数が減り、それにともなう文化祭当日に暇をもてあましてしまっている生徒の増加の問題や、今年度より始まった「授業五日、学校六日」の新カリキュラムなどの点から、昨年度十二月に行われた特別協議会において文化祭二日間の検討がされたが、演劇や合唱等の審査や準備に支障をきたすことから、例年通り三日間にわたって行われることになった。そこで先ず生徒の増加の問題への対策として生徒会、総務部を中心として企画を充実させる予定。また、ケルプ講堂にて文芸による展示を行う計画もあり、期待できる文化祭となるだろう。

## 文化祭に参加する人数が減り、それにともなう文化祭当日に暇をもてあましてしまっている生徒の増加の問題や、今年度より始まった「授業五日、学校六日」の新カリキュラムなどの点から、昨年度十二月に行われた特別協議会において文化祭二日間の検討がされたが、演劇や合唱等の審査や準備に支障をきたすことから、例年通り三日間にわたって行われることになった。そこで先ず生徒の増加の問題への対策として生徒会、総務部を中心として企画を充実させる予定。また、ケルプ講堂にて文芸による展示を行う計画もあり、期待できる文化祭となるだろう。

## 文化祭に参加する人数が減り、それにともなう文化祭当日に暇をもてあましてしまっている生徒の増加の問題や、今年度より始まった「授業五日、学校六日」の新カリキュラムなどの点から、昨年度十二月に行われた特別協議会において文化祭二日間の検討がされたが、演劇や合唱等の審査や準備に支障をきたすことから、例年通り三日間にわたって行われることになった。そこで先ず生徒の増加の問題への対策として生徒会、総務部を中心として企画を充実させる予定。また、ケルプ講堂にて文芸による展示を行う計画もあり、期待できる文化祭となるだろう。

## 文化祭に参加する人数が減り、それにともなう文化祭当日に暇をもてあましてしまっている生徒の増加の問題や、今年度より始まった「授業五日、学校六日」の新カリキュラムなどの点から、昨年度十二月に行われた特別協議会において文化祭二日間の検討がされたが、演劇や合唱等の審査や準備に支障をきたすことから、例年通り三日間にわたって行われることになった。そこで先ず生徒の増加の問題への対策として生徒会、総務部を中心として企画を充実させる予定。また、ケルプ講堂にて文芸による展示を行う計画もあり、期待できる文化祭となるだろう。

## 文化祭に参加する人数が減り、それにともなう文化祭当日に暇をもてあましてしまっている生徒の増加の問題や、今年度より始まった「授業五日、学校六日」の新カリキュラムなどの点から、昨年度十二月に行われた特別協議会において文化祭二日間の検討がされたが、演劇や合唱等の審査や準備に支障をきたすことから、例年通り三日間にわたって行われることになった。そこで先ず生徒の増加の問題への対策として生徒会、総務部を中心として企画を充実させる予定。また、ケルプ講堂にて文芸による展示を行う計画もあり、期待できる文化祭となるだろう。

## 文化祭に参加する人数が減り、それにともなう文化祭当日に暇をもてあましてしまっている生徒の増加の問題や、今年度より始まった「授業五日、学校六日」の新カリキュラムなどの点から、昨年度十二月に行われた特別協議会において文化祭二日間の検討がされたが、演劇や合唱等の審査や準備に支障をきたすことから、例年通り三日間にわたって行われることになった。そこで先ず生徒の増加の問題への対策として生徒会、総務部を中心として企画を充実させる予定。また、ケルプ講堂にて文芸による展示を行う計画もあり、期待できる文化祭となるだろう。

## 文化祭に参加する人数が減り、それにともなう文化祭当日に暇をもてあましてしまっている生徒の増加の問題や、今年度より始まった「授業五日、学校六日」の新カリキュラムなどの点から、昨年度十二月に行われた特別協議会において文化祭二日間の検討がされたが、演劇や合唱等の審査や準備に支障をきたすことから、例年通り三日間にわたって行われることになった。そこで先ず生徒の増加の問題への対策として生徒会、総務部を中心として企画を充実させる予定。また、ケルプ講堂にて文芸による展示を行う計画もあり、期待できる文化祭となるだろう。

春も終わりになつてくるとクラブでの仲間といふものが定着してくる。運動部であったり、文化部であったり、文化祭部であったり、私は総じて運動系のクラブの継続は苦手である。私自身運動音痴であることもありますが、体質にも合わない。何とかせねばと思うのだが何ともならない。

この状態が進むと、まず同じクラブの人達は彼らに文化祭には出来る限り自分の全身全霊をかけていくようにしている。クラブに入る真の目的が「何かに打ち込むこと」で得られる物があふたに目的は果たせると考えている。

最後に、小さな部活動でも、実際に仲間がいることや、言葉で伝えることが出来た。意味は大いにあると思う。

去る四月九日、第五十二期中学入学式並びに、第四十九期高校入学式が行われ、新中学生二五五名、編入生四名を含む新高校生二九名が入学を許可された。式前のベネディクション(聖体降福式)に続いて、新担任によって一人一人の名前が読み上げられると、新入生は緊張した面持ちでこれにこたえていた。



入学式



今年度より新しく授業を  
していただくことになった  
新任の事務。先生方十六名  
に自己紹介を兼ねて抱負、  
意気込みなどを聞かせてい  
ただいた。

新任挨拶



簡単な自己紹介  
上野 学



中学三年の数学を担当し  
ている上野と申します。

私は、京都大学大学院理  
学研究科修士課程の二回生  
として数学を専攻している  
院生でもあります。今年、  
朝日賞を受賞された加藤和  
也先生の下で数論の研究を  
しています。論文と戦う毎  
日です。

趣味は、大学入学から続  
けている合唱及び音楽とい  
うほど上手なわけではな  
いですが、です。今も男  
声合唱団「アンサンブル・  
リード」で歌い続けており  
ます。

はじめまして、物理を担  
当する田中淳（あつし）で  
す。私は中学生のころから  
教師になりたいという夢を  
持っていました。この洛星  
中学・高等学校で教師をで  
きることを大変幸せに思っ  
ています。大学、大学院時  
代には、量子力学を勉強し

ました。しかし、勉強のほ  
うは余り得意ではありません  
のでいろいろな苦労しまし  
た。苦労したぶん、皆さん  
に教えることができるのも  
多いと思います。大学（院）  
時代の部活動では、空手道  
部と柔道部を兼部しました。  
活動を生懸命しました。

日々トレーニングに励んだ  
おかげで、物理の勉強以外  
にもトレーニング方法や体  
の使い方や体を作る食事な  
どいろいろ教えることがで  
きると思います。また、い  
ろいろな趣味（釣り、料理、  
将棋、工作など）を持って  
いますので気軽に何でも相  
談に来て下さい。私の今年  
一年の目標は「体と心と頭  
脳を限界まで鍛える」です。  
皆さんに負けないように精  
一杯がんばりたいと思います  
のでよろしくお願いします。

生徒、保護者の皆さん  
初めまして。今年度新任  
の早川です。本年度は田中  
（成）先生、藤原先生と分担  
して高1・高2の世界史を  
担当します。

私は洛星三十九期生の  
卒業生でもあります。在学  
当時と比べると、北側の中  
学・高校校舎が真新しい校  
舎に建て替えられたのを  
はじめ、一学年五クラス制が  
導入されたこと、高校での  
文理分けが一年早まり第二  
学年から行われるようにな

ったこと等、随分変化した  
点があります。もちろん生  
徒の考え方や雰囲気も昔と  
は違ったものになりつつあ  
るでしょうが、多くの生徒  
が勉強だけでなくクラブ  
その他の課外活動に打ち込  
み、自由を謳歌していると  
ころは、私がいた頃と同じ  
で安心していきます。

さて、私が本年度授業で  
担当する分野は、世界史の  
中でも中国やイスラム世界  
を中心とするアジアの歴史  
です。生徒の皆さんもこの  
一年、テレビや新聞の報道  
で朝鮮半島やイラクの情勢  
について見聞きしたことが  
少なからずあるでしょう。  
しかし、アジアの地域はマ  
スコミだけを通して知る世  
界ではありません。皆さん  
も近い将来、大学生や社会  
人になった時には、旅行や  
仕事などで何らかの形で直  
接アジアの人間・風土を体  
験するはずです。皆さんに  
はヨーロッパ・アメリカ世  
界の歴史と対比しながらア  
ジアの歴史を学ぶことを期  
待します。

四月より社会科地理の専  
任教諭として着任した杉下  
です。私の前任は上杉先生  
でしたが、上杉先生と逆さ  
まのしりとりのように何  
かご縁を感じます。また、  
下の名前も「一郎」とい  
うのでシンプルでポピュラ  
ーな名前なので、みなさん  
覚えてください。私もみな  
さんの顔と名前を覚えるよ  
うに努力しますが、何分人  
数が多いためしばらく時間  
を下さい。その間、「君！  
とか「おい！」などちよっ  
と失礼な呼び方をすることも  
知れませんが、そんな時は「僕  
の名前は・です。」とほつ  
きり言ってください。

出身地は山形県、出身校  
は日体大、東山高で四十年  
保健体育教諭として教鞭を  
取り、退職後同志社高に非  
常勤講師で約一年勤務。  
専門種目はバスケットボ  
ール、東山高時代にIH、  
選抜大会に数回出場、その  
間公認審判員としてIH、  
国体・実業団の審判を経験  
し、又奨学生やママさんバ  
スケットボールの指導に当  
り現在同志社高女子バス  
ケットボールコーチとなり  
四年目。

本校では、高二の授業と  
中学バスケットボールの指  
導に当たることになりました  
のでよろしく。

一月から事務室でお世話  
になっていきます。勤務をは

じめのやいなや、中学・高  
校入試、祝賀会等と行事が  
目押しで、日々は怒涛の  
如く流れ、ふと気づけば、  
世間はすっかり春めいてい  
るじやないですか。どうも  
妙に気が弾むわけです。そ  
んなわけで、このところの  
時間の流れの速さには、驚  
くばかりの毎日です。

でも、だからといって、  
このまだまだ流れに身を任  
せているだけでは、せつた  
くのヴァイオレット学園で  
生活があまりにももったい  
なすぎるので、私も生徒の  
皆さん同様、学園生活を楽  
しんでいきたいと思ってい  
ます。もちろん、生徒では  
ないので、業務には気を引  
き締め取り組んでいきたく  
い、何度か心に言い聞か  
せてはおります。

不束者で、至らない点も  
多々あるとは思いますが、  
ご指摘などいつでも受け付  
けておりますので、どうぞ  
よろしくお願いたします。

竹内 尚美（事務局）

今回初めて男子校で事務  
をする事になったわけであ  
りますが、自宅男子校に居  
ていたため、どこを探して  
も女子校のいないことに少  
し淋しさを感じています。  
でも、中学生でまだまだ  
幼さの残っている生徒や  
でに大人のようにすました  
生徒、色々な生徒と会うこ  
とが出来て大変嬉しく思っ  
ています。

まだまだ分からないこと  
が多く、日々勉強の毎日  
ですが事務室の方々、先生  
方ばかりの方々にご指導  
いただき、一歩ずつ前進し  
ていくと思っております。  
そしてこの素晴らしい洛  
星に入學された皆さんが立  
派に巣立っていく姿を見ら  
れることを今から楽しみに  
しています。

守谷 美香（事務局）

今年度より新しく授業を  
していただくことになった  
新任の事務。先生方十六名  
に自己紹介を兼ねて抱負、  
意気込みなどを聞かせてい  
ただいた。

お願いたします。

これから一年間よろしく  
お願いたします。

自己紹介  
田中 淳



はじめまして、物理を担  
当する田中淳（あつし）で  
す。私は中学生のころから  
教師になりたいという夢を  
持っていました。この洛星  
中学・高等学校で教師をで  
きることを大変幸せに思っ  
ています。大学、大学院時  
代には、量子力学を勉強し

ました。しかし、勉強のほ  
うは余り得意ではありません  
のでいろいろな苦労しまし  
た。苦労したぶん、皆さん  
に教えることができるのも  
多いと思います。大学（院）  
時代の部活動では、空手道  
部と柔道部を兼部しました。  
活動を生懸命しました。

日々トレーニングに励んだ  
おかげで、物理の勉強以外  
にもトレーニング方法や体  
の使い方や体を作る食事な  
どいろいろ教えることがで  
きると思います。また、い  
ろいろな趣味（釣り、料理、  
将棋、工作など）を持って  
いますので気軽に何でも相  
談に来て下さい。私の今年  
一年の目標は「体と心と頭  
脳を限界まで鍛える」です。  
皆さんに負けないように精  
一杯がんばりたいと思います  
のでよろしくお願いします。

生徒、保護者の皆さん  
初めまして。今年度新任  
の早川です。本年度は田中  
（成）先生、藤原先生と分担  
して高1・高2の世界史を  
担当します。

私は洛星三十九期生の  
卒業生でもあります。在学  
当時と比べると、北側の中  
学・高校校舎が真新しい校  
舎に建て替えられたのを  
はじめ、一学年五クラス制が  
導入されたこと、高校での  
文理分けが一年早まり第二  
学年から行われるようにな

ったこと等、随分変化した  
点があります。もちろん生  
徒の考え方や雰囲気も昔と  
は違ったものになりつつあ  
るでしょうが、多くの生徒  
が勉強だけでなくクラブ  
その他の課外活動に打ち込  
み、自由を謳歌していると  
ころは、私がいた頃と同じ  
で安心していきます。

さて、私が本年度授業で  
担当する分野は、世界史の  
中でも中国やイスラム世界  
を中心とするアジアの歴史  
です。生徒の皆さんもこの  
一年、テレビや新聞の報道  
で朝鮮半島やイラクの情勢  
について見聞きしたことが  
少なからずあるでしょう。  
しかし、アジアの地域はマ  
スコミだけを通して知る世  
界ではありません。皆さん  
も近い将来、大学生や社会  
人になった時には、旅行や  
仕事などで何らかの形で直  
接アジアの人間・風土を体  
験するはずです。皆さんに  
はヨーロッパ・アメリカ世  
界の歴史と対比しながらア  
ジアの歴史を学ぶことを期  
待します。

四月より社会科地理の専  
任教諭として着任した杉下  
です。私の前任は上杉先生  
でしたが、上杉先生と逆さ  
まのしりとりのように何  
かご縁を感じます。また、  
下の名前も「一郎」とい  
うのでシンプルでポピュラ  
ーな名前なので、みなさん  
覚えてください。私もみな  
さんの顔と名前を覚えるよ  
うに努力しますが、何分人  
数が多いためしばらく時間  
を下さい。その間、「君！  
とか「おい！」などちよっ  
と失礼な呼び方をすることも  
知れませんが、そんな時は「僕  
の名前は・です。」とほつ  
きり言ってください。

出身地は山形県、出身校  
は日体大、東山高で四十年  
保健体育教諭として教鞭を  
取り、退職後同志社高に非  
常勤講師で約一年勤務。  
専門種目はバスケットボ  
ール、東山高時代にIH、  
選抜大会に数回出場、その  
間公認審判員としてIH、  
国体・実業団の審判を経験  
し、又奨学生やママさんバ  
スケットボールの指導に当  
り現在同志社高女子バス  
ケットボールコーチとなり  
四年目。

本校では、高二の授業と  
中学バスケットボールの指  
導に当たることになりました  
のでよろしく。

一月から事務室でお世話  
になっていきます。勤務をは

じめのやいなや、中学・高  
校入試、祝賀会等と行事が  
目押しで、日々は怒涛の  
如く流れ、ふと気づけば、  
世間はすっかり春めいてい  
るじやないですか。どうも  
妙に気が弾むわけです。そ  
んなわけで、このところの  
時間の流れの速さには、驚  
くばかりの毎日です。

でも、だからといって、  
このまだまだ流れに身を任  
せているだけでは、せつた  
くのヴァイオレット学園で  
生活があまりにももったい  
なすぎるので、私も生徒の  
皆さん同様、学園生活を楽  
しんでいきたいと思ってい  
ます。もちろん、生徒では  
ないので、業務には気を引  
き締め取り組んでいきたく  
い、何度か心に言い聞か  
せてはおります。

不束者で、至らない点も  
多々あるとは思いますが、  
ご指摘などいつでも受け付  
けておりますので、どうぞ  
よろしくお願いたします。

竹内 尚美（事務局）

今回初めて男子校で事務  
をする事になったわけであ  
りますが、自宅男子校に居  
ていたため、どこを探して  
も女子校のいないことに少  
し淋しさを感じています。  
でも、中学生でまだまだ  
幼さの残っている生徒や  
でに大人のようにすました  
生徒、色々な生徒と会うこ  
とが出来て大変嬉しく思っ  
ています。

まだまだ分からないこと  
が多く、日々勉強の毎日  
ですが事務室の方々、先生  
方ばかりの方々にご指導  
いただき、一歩ずつ前進し  
ていくと思っております。  
そしてこの素晴らしい洛  
星に入學された皆さんが立  
派に巣立っていく姿を見ら  
れることを今から楽しみに  
しています。

守谷 美香（事務局）

今年度より新しく授業を  
していただくことになった  
新任の事務。先生方十六名  
に自己紹介を兼ねて抱負、  
意気込みなどを聞かせてい  
ただいた。

お願いたします。

これから一年間よろしく  
お願いたします。

今年度より新しく授業を  
していただくことになった  
新任の事務。先生方十六名  
に自己紹介を兼ねて抱負、  
意気込みなどを聞かせてい  
ただいた。

お願いたします。

これから一年間よろしく  
お願いたします。

今年度より新しく授業を  
していただくことになった  
新任の事務。先生方十六名  
に自己紹介を兼ねて抱負、  
意気込みなどを聞かせてい  
ただいた。

お願いたします。

これから一年間よろしく  
お願いたします。



「石橋米穀店」のボーカル  
兼ギター担当の子安です。  
今年度より、ドラムの藤  
岡先生と、ギターの井戸先  
生が生徒会顧問になられま  
したので、止むなく向こう  
3年間「石橋米穀店」は閉  
店致します。どなたか、う  
ちのバンドで使ってやろ  
うという方がおられました  
ら、お気軽にお申し出下  
さい。



子安 克美

今年からお世話になる  
ことになりました。伊野葉  
子です。三月に大学を卒業  
して、社会人一年目になり  
ます。生徒部は生徒と接す  
る機会が多いので、すでに  
私と顔を合わせたことのあ  
る生徒さんも多いと思いま  
す。この学園にきて一カ月  
くらいになりますが、まだ  
分からないことも多く、み  
なさんにご迷惑をおかけし  
ていると思います。生徒  
さんの質問にも何でも答え  
られるようになるため、一  
生懸命勉強中です。私がい  
る生徒部は、毎日いろんな  
ことが起こり、いろんな生  
徒さんがやっています。朝  
や放課後は思つくひまもな  
いほど生徒さんがやってき  
ますが、とても楽しいとこ  
ろだと思っています。一人でも  
多くの生徒さんの顔と名前  
をおぼえて、親しんでもら  
えるようにがんばりますの  
で、よろしくおねがいしま  
す。



伊野 葉子 (生徒部)

英語科の新任のイアン・  
スミスです。皆さんはもう  
私の顔がわかるようになって  
いたと思いますが、私につい  
てはまだよく知らないかも  
しれませんので、ちょっと自  
己紹介をさせていただきます  
と思います。今学期が始  
まつてから数回「アメリ  
カ人ですか」と聞かれまし  
たが、何人かと答えたらち  
よっとわかりにくいので説  
明します。私はアメリカの  
シアトル市に生まれ、けれ  
ども、まだ三ヶ月の赤ちゃん  
のときに両親と一緒にカナ  
ダのビクトリア市に引っ  
越してそこで育っていたの  
で国籍は結局カナダとアメ



イアン・スミス先生

Hello! This is my first year at Rakusei High School. However, I have been in Japan for six years. I spent five years in the countryside of southeastern Shiga Prefecture where I taught English at the local schools. Now I live and work in Osaka. I enjoy my life in Japan even though I sometimes miss my home, Michigan, located in the northern United States.

Before coming to Japan I worked at a small college's international education center with exchange students. I had the chance to meet students from all over the world. I'm sure that someday you will have the opportunity to study abroad. I highly recommend you take it!

As for hobbies and sports... I enjoy making pottery, playing taiko drums, travelling, and camping. I was on the swim team from age seven through college and I also like casually playing other sports, but I am not good at competing.

Even though I'm only at Rakusei on Mondays, I hope to have the chance to talk more often to students in the coming year! Thank you for welcoming me to your school! Yoroshiku onegaishimasu.



Lisa Manhart

リカと両国籍になりました。  
始めて日本に何ったのは  
ほぼ十五年前で、大学二年  
生のときに留学生として一  
年間日本の大学に行きまし  
た。その後日本とカナダと  
アメリカとその三國にあ  
ちこち回っていて、大学院  
に行つて、やつと四年前に  
日本に住むように戻りまし  
た。今大津市に家族と一緒  
に住んでいます。毎日電車  
で通学していますので偶然に  
あつたら挨拶してください。  
洛星で英語の教員になつ  
てとてもうれいと思いま  
す。生徒さんの皆さんと話  
し合ったりバスケットボー  
ルをしたりすることを楽し  
みにしています。私はこの  
学校に慣れるまでいろいろ  
わからないことがあると思  
いますのでご協力をお願い  
します。私は生徒の英語能力  
が上達できるようにすること  
を一所懸命頑張りますから  
生徒の皆さんの努力もこれ  
からよろしく願います。



EDUCATION, VIATORIAN TRADITION, AND SOLIDARITY

April 12 2003 Rakusei, Kyoto

I very happy and honored to be here today- and for this opportunity to address a few words to you the students of Rakusei. I am also happy because we have something important in common. I, too, am a product of Viatorian education, being an alumnus of St. Viator High School outside of Chicago. That make us part of greater family that is international. In the name of all of Viatorian schools around the world, I greet you most sincerely!

First of all, I would like to say how impressed I am with the beautiful new buildings that have risen here on campus since the last time I was here in 1995 with Fr. Léonard Audet, the former superior general. These buildings represent more than just new construction: they are a physical sign of the love and faithfulness of the parents, alumni, and all who have collaborated in making these magnificent buildings a reality—and they are a gift to you, the students of Rakusei.

I was asked to speak about Viatorian education and what we, as Viatorians, regard as the most important aspect to the education we would like to impart. Naturally, we seek to provide the very best of education in the arts and sciences that have such a profound influence on our modern world. But the Viatorian approach to education, whether it be here in Japan, in Africa, South America, Canada or the United States, is also influenced by its context. We try to enter into dialogue with the culture in which we are working, with an open heart and respect for the genius and traditions of each country. Here in Japan, the millennial traditions of philosophy, art, and architecture so evident here in the beautiful city of Kyoto are an exceptionally rich context for education.

We also seek to share the best of our own traditions with our students. These Viatorian traditions are inspired by the traditions of the Catholic Church and the life of the founder of the Viatorians, Fr. Louis Querbes. Drawing from these sources, we as educators are convinced that the most important thing a person can learn is not necessarily technical knowledge—information contained in books. This technical information is important, but not necessarily something that will bring happiness and contentment in life. Rather, the most important part of education is not information, but formation; not knowledge, but wisdom—and wisdom is about developing attitudes toward the world and others that lead to happiness.

I am convinced that one of the most important of these attitudes is that of being grateful. Cicero, the Roman orator and philosopher said that "Gratitude is not only the greatest of virtues, but the parent of all the others." In order to be happy, we must recognize that life itself has been given to us by our God of love, through no merit of our own. Why you were born here, in this beautiful country; why you have the parents and the material advantages that you enjoy is part of the mystery of life. Here at Rakusei you have been given the opportunity to study at this school: a place where there are dedicated teachers and superb facilities. The inauguration of this new gymnasium is a good opportunity, then, to stop a moment and reflect on how much you have been given by others—by your parents, by your teachers, and by your friends and fellow students.

Hello! 洛星高校に来るのは今年からですが、日本に住んで六年になります。五年間滋賀県南東部の田舎に住んで、その学校で英語を教えていました。今は大阪に住んで、働いています。ミシガン(アメリカ北部)の実家が恋しくなることもたまにあります。日本での生活を楽しくしています。日本に来る前は、小さな大学の国際教育センターの留学生のお世話をする仕事をしていたので、世界中の学生さんと出会う機会がありました。きつと皆いつか海外で学ぶ機会があるでしょう。その機会を利用することを皆さんに強くお勧めします。



Yoroshiku onegaishimasu.

Being grateful, then, as Cicero mentions, leads to other virtues. Being aware of how much we have been given inspires us to want to respond in some way to this generosity. How can we respond with gratitude? One way to respond is to make the most of what we have been given. To learn about the world in which we live and the conditions in which other human beings live who share our planet.

We are all challenged when we learn that Japan, Europe, Canada and the US, about 20% of the world's population, controls and uses 80% of its resources. We learn that many people, especially children, in the developing world and even here in Japan go to bed hungry every night and grow up mentally handicapped because of a lack of nutrition. Most do not have an opportunity for even a basic education. This, too, is a fact about our world that challenges us to respond in such a way as to share with those less fortunate than we.

There is a saying of Jesus that come from the Gospel of Luke and speaks of how God will judge us at the end of time: "From everyone to whom much has been given, much will be required; and from the one to whom much has been entrusted, even more will be demanded" (Luke 12:48). I am convinced that because all of us have been given much, therefore much is required of us... now and in the future.

I was proud and happy to learn that many of you, the students of Rakusei, have responded well to the invitation to show your gratitude by sharing with those who have been less fortunate. Our Viatorian schools in Burkina Faso in Africa and our other foundations in the developing world have greatly benefited from your generosity. On behalf of many of those students who I have personally met, I would like to thank you.

I would also like to challenge all of you today to think about how you can respond individually and as a group to the needs of people less fortunate that you are here in Japan and in other countries around the world. Responding to life with generosity and love because of what you have been given, then, is the goal of Viatorian education. May you always be proud to be students of Rakusei; and may you continue to be generous and compassionate toward others, giving of yourselves because of what you, yourselves, have received.

It's a pleasure to meet you. May God bless you and your beautiful school.

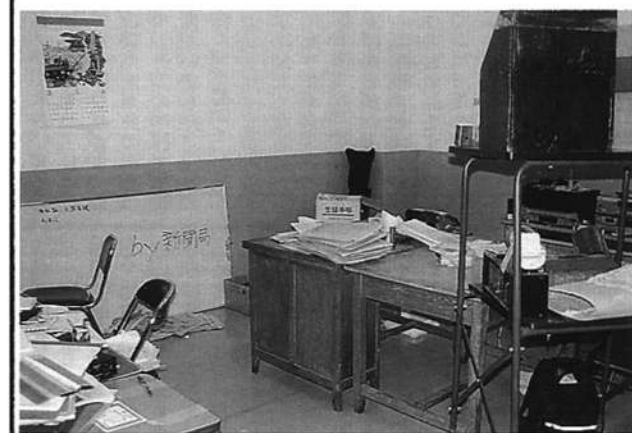
教育とヴィアートル修道会と連体 (原文)

03 年度大学入試結果

国立大学																														京都大学			現																		
計	医	農	経済	信州大学	一橋大学	筑波大学	東北大学	計	獣医	理	農	法	北海道大学	計	農	工	医	経営	経済	法	国際	文	神戸大学	計	基礎工	工	歯	医	理	経済	法	文	大阪大学	計	理Ⅱ	理Ⅰ	文Ⅲ	文Ⅰ	東京大学	計	総合	農	工	薬	医	理	経済	法	文	京都大学	現
1	0	0	1		0	1	1	1	1	0	0	0		11	1	3	0	1	3	2	1	0		5	0	0	1	2	1	0	0	1		2	0	2	0	0		41	0	5	19	1	2	5	2	6	1		75
2	1	1	0		1	0	0	4	0	1	1	2		13	1	5	2	2	2	0	0	1		8	1	3	0	1	0	2	1	0		6	1	2	1	2		38	1	3	14	1	3	3	4	9	0		98
3	1	1	1		1	1	1	5	1	1	1	2		24	2	8	2	3	5	2	1	1		13	1	3	1	3	1	2	1	1		8	1	4	1	2		79	1	8	33	2	5	8	6	15	1		173

公立大学																														名古屋大学			卒																		
商	人間	法	早稲田大学	（私立大学）	現	その他	計	医	工	経済	商	文	大阪市立大学	計	農	工	大阪府立大学	計	農	京都府立大学	京都府立大学	京都府立大学	人間環境大学	計	経済	人文	東京都立	（公立大学）	現	その他	計	歯	経済	岡山大学	岡山大学	鳥取大学	計	繊維	工芸	京都工芸大	京都教育大	滋賀大	計	医	農	工	文	名古屋大学			
0	0	0	15	現	2	0	0	0	0	0	0	0		3	0	3		2	2	6	0	0	0		13	現	4	0	0	0		4	0	0	0	0	1	0	1	3	1	2	0	2	0	1	0	1		1	
1	1	2	156	卒	6	7	3	1	1	1	1	1		9	1	8		1	0	4	2	1	1		29	卒	13	1	1	1		13	1	1	1	1	1	0	1	1	0	1	4	3	1	0	2	0		0	
1	1	2	171	計	8	7	3	1	1	1	1	1		12	1	11		3	2	10	2	1	1		42	計	17	2	1	1		17	2	1	1	1	2	1	1	4	2	2	1	6	5	1	1	2	1		1

私立大学																														一文			卒																			
大阪医大	計	工	法	文	関西大学	計	理工	総合政	経済	法	商	文	関西学院大学	計	理工	政策科	経営	経済	法	文	立命館大学	計	工	経済	商	法	同志社大学	計	理工	工	理	東京理科大学	計	理工	法	中央大学	計	理工	法	上智大学	計	医	理工	経済	商	法	文	慶應義塾大学	計	理工	卒	一文
1	2	1	0	1		0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0		2	1	1	0	0		0	0	0	0		4	1	3		0	0	0		3	1	1	0	0	1	0		1	1	0	0
5	6	4	1	1		14	1	1	2	6	1	3		32	19	1	5	3	2	2		21	7	7	1	6		4	1	2	1		3	0	3		3	2	1		17	0	5	3	7	1	1		15	8	1	2
6	8	5	1	2		14	1	1	2	6	1	3		32	19	1	5	3	2	2		23	8	8	1	6		4	1	2	1		7	1	6		3	2	1		20	1	6	3	7	2	1		16	9	1	2



掃除を終えて、人影も少なくなった廊下を西へ、ウエストウィング三階の生徒会室と茶道部室の間、一週間に一度返却していない鍵で中に入り、扉を開けると廊下の物音が遠ざかる。

新聞局室、天井近くに北向きの小さな窓があるだけの部屋、「牢獄」と言われても反論がでなかった部屋、考えると「何か恨みでもあるのか」と思ってしまうので、最近はこの割り当てについては、深く考えないようにしている。靴を



洛星の歴史を  
感じたい人は是非  
見学歓迎—  
局員募集

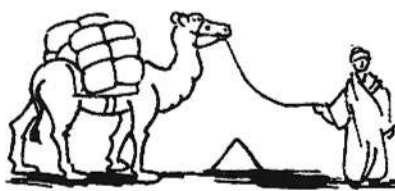
近畿大学			農			理			生			計			関西大			その他			大学校など			防衛大			防衛医大			留學		
3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1	3	1	1	1	1	3	1	1			
1	2	1	2	1	2	2	1	2	2	2	1	2	4	26	4	7	4	26	4	1	2	1	2	1	2	1	2	1	1			
4	3	2	2	2	2	2	1	2	2	2	1	2	4	28	4	7	4	28	4	2	2	2	2	2	2	2	3	2	2			

ごらくのご

- 「ヨコのカギ」
1. 古代エジプトの象形文字
  5. 〇〇〇日は最高気温が30℃を超えた日のこと
  6. アラビア産コーヒーの銘柄
  7. 1チーム15人の球技
  9. 限りなく移りかわること
  11. ギリシア哲学の一派です
  13. 海がこれでは漁に出れません



- 「タテのカギ」
1. 鳥の子
  2. 〇〇〇〇室では静かに本を読みましょう
  3. 〇〇〇〇コントロール、略してリモコン
  4. 卵がかえること
  5. 約一六〇九m
  8. このお菓子を食べたことのない人はいないでしょう
  10. 乙女、〇〇、サソリ、射手
  12. セリフを後から入れること



13. 〇〇の通った人

編集後記

えい、そんなわけで新聞の発行です。  
本来新年度号として出すはずが、夏直前号として発行。おかしいですねえ。  
まあ、局員2人しかいない方がおかしいとも言えますが。  
というわけで、部員募集です。おいでませ、京都。じゃなかった、新聞局。マジでお願いします。  
(小宮山加茂)

この新聞の発行のため、研修旅行前日に五時頃まで残ってたら「まだ残ってたんか。」と、道行く先生方に言われまくった。  
あと人間は疲労がたまる」と理性がなくなっていくことを文化祭とかタブローでもないのに体感。  
(覚悟の果て)

局長 H I D 中村 彰宏  
副局長 H I I A 富岡 潤  
顧問 荻野 一茂  
子安 克美